

根っ子の会の観察日記

～根木内歴史公園:湿地の観察会(2019/5/18 実施)～

参加者: 6名

※この観察日記は、参加者の感想を基に構成されています。

ヨシの伸びる勢いには毎年圧倒されますが、今年も至る所に伸びだして、昔より増えている？と感じてしまいます。そのヨシに負けたのか、ミクリ池と称してた所にミクリがなくなっているのに今回気づいて驚きました。ジャヤナギ下の水が来てる場所にしかありませんでした。花を付けてるのも1本しかなくて心配です。

タコノアシも少し減ってるかなと、去年あたりから気になってたので、気を付けて見ていこうと思います。



ケキツネノボタンに付着する黄色い物体
(写真中の矢印の部分)

中央池周辺で全高7,80cmはあろうかと思われるケキツネノボタンに出くわしたが、茎には数か所、葉にも1か所山吹色のものが付着していた。虫こぶ、コケ類の寄生等諸説が出た。よく見ると、付着物は茎が折れ曲がった上面に長径2,3cm位の楕円形、葉では葉脈上に5mm位の大きさで広がっていた。この付着物がケキツネノボタンを選好するとしたら単独で存在するようなものに良く出くわしたものだと思う。

高台南西側にヤマボウシが3,4本生育しているが、花のつき方がそれぞれ異なる。1本は全周満遍なくついているが、他はほんの数か所であったり、ほとんどなかったりである。日当たり、隔年開花性でもあるのか等々思いめぐらせた。帰途ヤマボウシの花を今年はずいぶん前に観察したことを思い出し、ひょっとして花が散ってしまったのか等思いを巡らせた。



ヤマボウシ (2013年5月撮影)



ミコシガヤ



タガラシ



ウシハコベ

今月はカワジシャ、ケキツネノボタン、ウシハコベの花を園内のあちこちで確認した。この春に育ちはじめたばかりのような小さなものも沢山みられたことから、数がふえたのかなと思う。

他にアゼナルコ、ミコシガヤも元気がよかった。けれどカズノコグサは1本みつけたのみ。タコノアシはどうした？と探したらアシやアゼナルコの影になってしまっていた。タコノアシも生存競争に負けないで。

一本のケキツネボタンの茎にオレンジ色のものが付着して、そこから茎が曲がってしまっていた。これは何か？ネナシカズラのような紐状のものは見られなかったが、何か寄生しているのか？気になった。

6月の湿地の観察会は、、、

6月22日（土）（15日が雨天のため延期）

9:30 駐車場集合（小雨決行）です。

遅れての参加、早めに帰宅など自由ですので、お気軽にご参加下さい。

観察会は**基本的に毎月第3土曜**に開催です。

お問い合わせは下記メールまでお願いします。

akihitoaizawa@gmail.com（相澤）